

携帯電話ー固定電話アダプタ (Bluetooth 接続)

取 扱 説 明 書

目次

1 使用上の注意	1
2 セットアップ	2
2.1 AC アダプタと電話機の接続.....	2
2.2 前面パネルのインジケータについて.....	2
2.3 ナンバーディスプレイの設定.....	2
2.4 携帯電話の設置場所について.....	2
2.5 Bluetooth デバイス名の変更.....	3
2.6 Bluetooth 機器の登録 (ペアリング) と接続 (受動モード).....	3
2.7 Bluetooth 機器の登録 (ペアリング) と接続 (能動モード).....	5
2.8 市外局番の設定.....	6
2.9 特定の番号への発信の許可・禁止の設定.....	7
2.10 プレフィックス番号の設定.....	7
2.11 通話時間制限の設定.....	7
2.12 2 台同時待ち受けについて.....	7
3 通常の使用方法	8
3.1 着信.....	8
3.2 発信.....	8
3.3 携帯電話の再発信規制について.....	8
3.4 Bluetooth の切断.....	9
3.5 Bluetooth の接続.....	9
3.6 Bluetooth ペアリングの解除とやり直し.....	10
3.7 パスワード.....	11
3.8 パスワード設定時の Bluetooth の接続・切断、ペアリング情報の消去.....	11
4 モード設定	12
4.1 受話・送話音量の設定.....	12
4.2 ノイズ低減.....	12
4.3 極性設定.....	13
4.4 ナンバーディスプレイ.....	13
4.5 固定電話の回線種別.....	13
4.6 ダイヤル終了から発信までの待ち時間.....	13
4.7 発着信許可.....	13
4.8 市外局番自動付加.....	14
4.9 Bluetooth デバイス名の変更.....	14
4.10 オフフック時 Bluetooth 自動接続.....	14
4.11 Bluetooth 接続受付許可.....	14
4.12 Bluetooth 常時自動接続.....	14
4.13 Bluetooth 電波強度.....	14
4.14 Bluetooth のペアリングと接続 (能動モード).....	15

4.15	Bluetooth のペアリングと接続 (受動モード)	15
4.16	Bluetooth の切断	15
4.17	Bluetooth ペアリングの解除	15
4.18	Bluetooth 機器の最大接続台数	15
4.19	発信制限 (既定番号・無料通話)	16
4.20	発信制限 (既定番号・有料通話)	16
4.21	発信制限 (個別番号)	17
4.22	発信番号プレフィックス	18
4.23	通話時間制限 (通知音)	18
4.24	通話時間制限 (強制切断)	18
4.25	再起動	18
4.26	設定初期化	18
4.27	パスワード	19
4.28	バージョン番号確認	19
5	付録	20
5.1	仕様	20
5.2	技術基準適合証明について	20
5.3	保証について	21

1 使用上の注意

携帯電話—固定電話アダプタ (Bluetooth 接続) (以下「本製品」) は、携帯電話を最大2回線收容し、内線電話機を使用して携帯電話での発着信および音声通話を実現するものです。本来の用途以外のご使用はしないでください。

本製品は空調管理された室内での設置・使用・保管を想定しています。

下記のような場所には設置・使用・保管をしないでください。

- ・極端に高温になる場所 (直射日光の当たる場所や熱源の近くなど)
- ・極端に低温になる場所
- ・湿度の高い場所 (風呂場や加湿器のそば・風雨の当たる場所など)
- ・不安定な場所
- ・極端に振動が激しい場所
- ・強い磁界・電界が存在する場所 (家庭用コードレスホンや無線機器・電子レンジ・IH 調理機器等の近くなど)
- ・空気の汚れが多い場所 (ほこりや油飛びなど)
- ・気化した薬品や可燃性ガスなどが充満した場所

また、下記のような使用方法に従ってください。

- ・付属の AC アダプタ以外は使用しないで下さい。
- ・家庭用 AC100V 電源以外では使用しないで下さい。
- ・発煙や異臭がする際にはすぐに AC アダプタ・全てのコネクタを抜き、使用を中止して下さい。
- ・水が装置内部に入った場合、すぐに AC アダプタ・全てのコネクタを抜き、使用を中止して下さい。
- ・濡れた手で本体やコネクタに触らないで下さい。
- ・コネクタの端子に触ったり、導電性異物や薬品を付着させないで下さい。
- ・雷の激しい時は、AC アダプタをコンセントから抜いて下さい。
- ・高い場所から落下させないで下さい。
- ・分解・改造・ハンダ付けなどをしないでください。

免責事項：

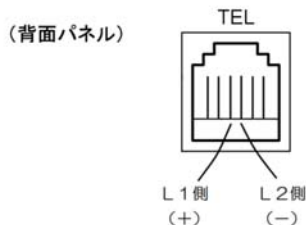
- ・本製品の故障、誤動作、不具合あるいは災害・事故などの外部要因によって、通話の機会を逸したため生じた損害などについて、当方は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の不具合・その他過失などによって生じた通話時間超過などによる金銭的・その他の損害などについては、当方は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の故障等による物損事故 (接続した携帯電話・固定電話等や周辺の品物が連鎖的に故障した場合など) には、本製品の保証期間であっても、本製品およびその付属品以外については、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・本製品の故障等による人身事故につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

2 セットアップ

2.1 AC アダプタと電話機の接続

以下の手順で本アダプタ背面の各端子にケーブルを接続して下さい。

- 1) モジュージャック (TEL) とビジネスホンのアナログポートや固定電話を接続してください。ビジネスホン主装置のアナログ回線ユニット等、極性がある場合は下図の通り接続してください。
配線の都合で逆の接続になる場合には、本アダプタの極性設定 (4.3 節) を使用して下さい。



- 2) 付属の AC アダプタをコンセントに差し込んで下さい。
そして、アダプタ背面の DC ジャック (DC12V) に DC プラグを差し込んで下さい。

2.2 前面パネルのインジケータについて

前面パネルのインジケータの意味は以下の通りです。

POWER (赤色) : 電源ランプです。本アダプタに電源が供給されている間、点灯します。

CONNECT (緑色) : 携帯電話の接続状態を示します。

消灯 : 携帯電話との Bluetooth 接続が切れており、通話不可能な状態。

点灯 : 携帯電話と Bluetooth 接続されており、通話可能な状態。

点滅 : ペアリング中または接続処理中。

2.3 ナンバーディスプレイの設定

接続する電話機のナンバーディスプレイ機能の有無に合わせて、本アダプタのナンバーディスプレイ機能の有効・無効を適切に設定して下さい。設定方法は 4.4 節を参照して下さい。

2.4 携帯電話の設置場所について

携帯電話は手に持って通話するように設計されています。金属製の机の上に直に置いた場合等には電波感度が低下し、通話が安定しない場合がありますので、金属と接して設置しないようにして下さい。

2.5 Bluetooth デバイス名の変更

携帯電話に表示・登録される Bluetooth デバイス名を変更することができます。標準のデバイス名は「TTR-ADPT1」ですが、4.9 節に従って設定することにより、デバイス名を「TTR-ADPT1 (01)」～「TTR-ADPT1 (99)」に変更することができます。

本アダプタを複数台使用する際など、個体を識別したい場合に使用してください。

2.6 Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続（受動モード）

以下の手順に従って Bluetooth 機器（携帯電話）の登録（ペアリング）を行ってください。

1) 固定電話の受話器を上げて、「ツー」または「ブー・ブー」という発信音を確認してください。

そして「8 1」を入力してください。（機器番号 1 番に登録します。最大 5 台まで登録でき、2 番～5 番に登録するには「8 2」～「8 5」を入力して下さい。）

受話器から「接続中...」というアナウンスが流れるので、そのまま受話器を上げておいてください。

2) 携帯電話から、本アダプタの検索を行って下さい。操作方法は以下の通りです。

・ iPhone の場合：

「設定」／「設定」－「一般」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにして、設定画面を表示したままにしておいてください。

「その他のデバイス」のところに「TTR-ADPT1」の名称が表示されたら、検索完了です。

・ Android 携帯の場合：

「設定」／「設定」－「無線とネットワーク」の「Bluetooth」にて Bluetooth をオンにして、「機器の検索」や検出アイコンをタップするか、メニューの「更新」を選んでください。

「使用可能な機器」や「使用可能なデバイス」のところに「TTR-ADPT1」の名称が表示されたら、検索完了です。

・ フィーチャーフォン (docomo / softbank / au など、ほとんどのキャリア) の場合：

「メニュー」－「LifeKit」－「Bluetooth」／「メニュー」－「便利ツール」－「Bluetooth」／「メニュー」－「設定」－「Bluetooth」などにある、「検索」「新規機器登録」などのメニューを選択して下さい。

「TTR-ADPT1」の名称が表示されたら、検索完了です。

・ WILLCOM / Y!mobile の携帯電話 (PHS) の場合：

待ち受け画面から決定ボタン押し、「Bluetooth」メニュー画面から、「親機モードで接続」の操作を行って下さい。

機種によってはさらに「登録機器一覧(親機)」などを選択し、「検索」を行ってください。

「TTR-ADPT1」の名称が表示されたら、検索完了です。

※検出や接続操作が成功するまで数回繰り返し操作する必要がある場合があります。

3) 検出された「TTR-ADPT1」に対して登録・接続操作をしてください。
操作方法は以下の通りです。

- ・ iPhone や Android 携帯の場合：
検索された「TTR-ADPT1」をタップしてください。
- ・ フィーチャーホンの場合：
検索された「TTR-ADPT1」に対して「登録」「接続」などの操作を行って下さい。

携帯電話に認証や接続するかどうかのメッセージが表示された場合には許可して下さい。
携帯電話にパスワード・パスキー (PIN) 入力画面が現れた場合には「0000」を入力して下さい。

4) 携帯電話の種類により、さらに接続操作をする必要があります。

- ・ フィーチャーホンの場合、メニューを一段階戻り、「機器リスト・接続・切断」メニューなどから「TTR-ADPT1」に対して接続操作をしてください。
- ・ それ以外の携帯電話では、前項の機器の登録・認証をすると自動的に接続される場合もあります。

5) 受話器からの音が「接続中…」から「ツー」に変わればペアリングおよび接続は完了です。

ペアリング・接続作業を中止するには：受話器を置いて下さい。

トラブルシューティング：携帯電話が本アダプタを検出できない場合：

- ・ 携帯電話の種類によっては（登録機器リストと新規機器登録のメニューが分かれている場合などに）、既に「TTR-ADPT1」がリストに登録されている場合は、新規機器登録メニューで検出・検索できない場合があります。一旦機器リストにて登録を削除してから、再度検出・検索を行って下さい。
- ・ 携帯電話の Bluetooth 機能をオフ・オンしたり、再起動してみてください。

この方法は、入力した機器番号のペアリングを解除してから、外部からのペアリング・接続要求を受け付けます。

一度ペアリングを行えば、次回からは必要ありません。（初期設定では、接続が切れても自動的に再接続します（3.5①節）。それ以外の設定でも、Bluetooth の接続・切断（3.5 節、3.4 節）を行うだけです）。

電源が切れても、ペアリング情報は保存されています。ペアリングの解除（4.17 節）、本アダプタの設定初期化（4.26 節）を行った場合にはペアリング情報が消去されます。

2.7 Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続（能動モード）

前節の方法でペアリングと接続がうまくいかない場合、以下の方法を試してみてください

1) 携帯電話をペアリング可能な状態にします。

操作方法は携帯電話によって異なりますが、主に以下のようになっています。

- ・ iPhone の場合 : 「設定」 / 「設定」 - 「一般」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにして、設定画面を表示したままにしておいてください。
- ・ Android 携帯の場合 : 「設定」 / 「設定」 - 「無線とネットワーク」の「Bluetooth」にて Bluetooth をオンにして、「検出可能」を選択してください。
Android 4.x では自機名称をタップすると検出可能な状態になります。
- ・ フィーチャーフォン (docomo / softbank / au など、ほとんどのキャリア) の場合 :
「メニュー」 - 「LifeKit」 - 「Bluetooth」 / 「メニュー」 - 「便利ツール」 - 「Bluetooth」 / 「メニュー」 - 「設定」 - 「Bluetooth」などにある、「接続待機」・「登録機器リスト」・「デバイス」・「サーチ」などを選択してください。
「接続待機」と「新規機器登録」「サーチ」などの複数の接続方法がある場合、「接続待機」を選択して下さい。「接続待機」を選ぶと、携帯電話画面が待ち受け画面に戻りますが、それで Bluetooth の接続待機状態になっています。続けて以下の操作を固定電話で行って下さい。

※フィーチャーフォンで「接続待機」が無い機種は本節の方法は使用できません。

※ペアリング時には、登録したい機器とは別の Bluetooth 対応機器が近くにある場合は、その機器の Bluetooth 機能をオフにするか、電源をオフにしてください。(誤って別の機器と接続しないようにするため。Bluetooth を使用したマウス・キーボード・ヘッドホンなどもこれに含まれます。) ペアリング後は、その機器の Bluetooth 機能をオンにしても構いません。

2) 固定電話の受話器を上げると「プー・プー…」という高い音程の断続音がしていることを確認して下さい。(Bluetooth が接続されていない状態の時の発信音です)。

そして受話器を上げたまま「1」を入力してください。(機器番号1番に登録します。最大5台まで登録でき、2番～5番に登録するには「2」～「5」を入力して下さい)。

受話器から「接続中：(3 から 0 のカウントダウン)」というアナウンスが流れるので、そのまま受話器を上げておいてください。カウントダウンの意味は、以下の通りです。

3 : ペアリング先サーチ中

2 : ペアリング実行中

1 : ハンズフリー接続中

0 : 完了

- 3) ペ어링実行中には、携帯電話で以下のような応答が起こります (機種により異なります)。
- ・何のメッセージも無く、自動的に接続する
 - ・接続するかどうかのメッセージが現れる。その場合、許可してください。
 - ・接続するかどうかのメッセージの後、パスキー・パスワード (PIN) 入力画面が現れる。
- この場合には、「0000」を入力してください。
接続先の名称は、「TTR-ADPT1」と表示されます。
- 4) 接続が成功すると、受話器の音が「ツー」に変わりますので、受話器を置いて下さい。

ペアリング・接続作業を中止するには：受話器を置いて下さい。

トラブルシューティング：カウントダウンが進まない場合は、以下のことを試してください。

- ・本節 1) に戻り、携帯電話がペアリング可能な状態になっているかを再確認する。
- ・周辺に別の Bluetooth 機器がある場合、その機器の Bluetooth 機能をオフにする。
- ・本アダプタのペアリング情報を消去して、再度ペアリングを開始して下さい (3.6 節参照)。
- ・携帯電話の Bluetooth 機器一覧に TTR-ADPT1 の名称が登録されている場合には一旦登録 (ペアリング) を解除して、再度ペアリングを開始して下さい。
- ・一旦携帯電話の電源をオフ・オンしたり、本アダプタの電源を一旦抜くか、再起動 (4.25 節) 行ってみてください。
- ・「1」～「5」のいずれかの番号に携帯電話を登録 (ペアリング) すると、同じ携帯電話を異なる番号には登録できませんので、確認して下さい。設定初期化 (4.26 節) をすると出荷時の状態に戻すことができます。

一度ペアリングを行えば、次回からは必要ありません。(通常の使用では、Bluetooth の接続・切断 (3.5 節、3.4 節) を行うだけです)。

電源が切れても、ペアリング情報は保存されています。

ペアリングの解除 (4.17 節)、本アダプタの設定初期化 (4.26 節) を行った場合にはペアリング登録情報が消去されます。

2.8 市外局番の設定

市外局番の無い電話番号をダイヤルした際、自動的に市外局番を付けて発信することができます。

4.8 節に従い設定して下さい。一般的には、電話機を設置する地域の市外局番を設定します。市外局番を付加するのは 1～9 で始まる 5 桁以上の電話番号へ発信する場合です。

2.9 特定の番号への発信の許可・禁止の設定

特定の番号で始まる電話番号へ発信の許可／禁止を設定できます。

- ・あらかじめ設定してある電話番号に対する通話を許可するには 4.19 節を参照してください。ここに列挙してある電話番号以外にも通話許可したい場合は 4.21 節に従い設定して下さい。
- ・あらかじめ設定してある電話番号に対する発信を禁止するには 4.20 節を参照してください。ここに設定されている番号は、各携帯電話会社の音声通話定額プランの対象外となる可能性のある電話番号です。ここに列挙してある電話番号以外にも通話禁止にしたい場合は 4.21 節に従い設定して下さい。

2.10 プレフィックス番号の設定

MVNO の通話定額プラン (専用アプリを使用するもの) などを本アダプタからの発信に適用するためには、電話番号の前にプレフィックス番号を付けて発信する必要があります。(プレフィックス番号はサービス毎に異なります。各サービス会社のホームページなどで調べてください。)

プレフィックス番号を設定すると、この番号をダイヤルした番号の先頭に付けて発信します。(4.22 節を参照のこと)。

2.11 通話時間制限の設定

通話定額プランに時間制限がある場合など、通話時間を制限したい場合に下記の動作を設定することができます。(発信通話に対して動作します。着信通話には適用されません)。

- ・通話開始後、設定した時間に達すると受話器から「ブブブ... ブブブ...」という音で通知するように設定できます。(4.23 節)
- ・通話開始後、設定した時間に達すると強制的に通話を切断するように設定できます。(4.24 節)

注意：設定を誤ると定額料金を超えて通話する可能性があります。また、通話回数の制限には対応していません。ご自身の通話定額プランの内容や本機能についてよく理解・確認してから使用して下さい。

2.12 2 台同時待ち受けについて

本アダプタでは、Bluetooth 携帯電話を最大 2 台まで同時に接続・待ち受け可能です。

初期設定では最大接続台数は 1 台に設定されていますので、4.18 節に従い、最大接続台数を「2」に設定して下さい。

Bluetooth 携帯電話を 2 台接続している場合の動作は以下の通りです。

- ・同時に 2 台の携帯電話の着信待ち受けができます。
- ・どちらかの携帯電話に着信があった場合、固定電話の受話器を上げるとその携帯電話の着信を受けることができます。(同時に通話できるのはその携帯電話だけです)
- ・通話中にもう片方の携帯電話に着信があった場合、無視されます。
- ・固定電話にて発信操作をした場合には、接続されている携帯電話のうち、機能番号の小さい方の携帯電話を使って発信されます。(この設定は変更できません)。

3 通常の使用方法

3.1 着信

携帯電話に着信があると接続した固定電話の呼び出し音が鳴ります。

ナンバーディスプレイ対応の電話機を接続し、本アダプタのナンバーディスプレイ機能がオンに設定してあり (4.4 節参照)、発信元が番号通知を有効にしている場合、発信元の電話番号が表示されます。

受話器を上げると通話を開始します。受話器を置くと通話が終了します。

受話器を上げた状態で着信があった場合、受話器から「ブブブ」 という音が鳴ります。

この場合、一端受話器を置いて下さい。そして、固定電話の呼び出し音が鳴ってから、受話器を上げて通話を開始して下さい。

3.2 発信

固定電話の受話器を上げて、受話器から「ツー」という音がするのを確認します。

(この際、「プー・プー…」という高い音程の断続音が聞こえたら、携帯電話と Bluetooth の接続ができていません。Bluetooth 機器の登録と接続 (2.7 節、2.6 節) の操作が完了しているかを確認してください。

次に、固定電話で電話番号を入力します。しばらく経つと自動的に発信します。(番号入力終了から発信までの時間は設定できます。4.6 節を参照してください)。

プッシュホンの場合、電話番号の最後に「#」を入力するとすぐに発信します。

また、携帯電話の操作により発信後、固定電話で通話することもできます (携帯電話の種類により出来ない場合があります)。

固定電話の受話器を置いたまま、携帯電話で発信操作をしてください。少し (1,2 秒) 経ってから受話器を上げてください。受話器から発信中の音が聞こえ、以後は通常の発信と同じです。

3.3 携帯電話の再発信規制について

同じ番号に連続して発信して相手が応答しないことが何度か続いた場合、発信できなくなる場合があります。これは、自動装置から頻繁な再発信を規制する携帯電話会社側の仕組みです。この場合は、受話器から「プー・プー…」という音が鳴ります。この場合、しばらく時間をあけてから (数分かかる場合もあります) 再度発信してください。

3.4 Bluetooth の切断

携帯電話アダプタでの通話をしない場合には、以下の手順で Bluetooth の接続を切断して下さい。

以下の通り、3 つの方法があります。

① 接続した固定電話の操作により切断する方法

- ・受話器を上げて「9」を入力します（全ての接続を切断する場合）。
- ・受話器を上げて「9 1」～「9 5」を入力します（機器番号を指定して切断する場合。「9」に続く 2 桁目が機器番号に相当します）。

Bluetooth の切断が完了すると、受話器からの音が「ツー」から「プー・プー…」に変化します。

② 携帯電話の操作により切断する方法

携帯電話から本アダプタ「TTR-ADPT1」を選び、「切断」の操作を行って下さい。（操作方法は携帯電話によって異なります。この操作ができない携帯電話もあります）。

③ 自然に切断される場合

携帯電話の Bluetooth 機能をオフにしたり、Bluetooth の電波が届かない場所に移動した場合にも Bluetooth は切断されます。

3.5 Bluetooth の接続

Bluetooth が切断された後、再度本アダプタを使用して固定電話で通話するには、携帯電話と Bluetooth で接続をする必要があります。

以下のいずれかの方法で接続できます。

※既に別の携帯電話と Bluetooth で接続をしている場合は、まずその携帯電話と切断(3.4 節)を行ってから新たな携帯電話と接続を行ってください。

※以下の方法で接続をするには、ペアリング (2.7 節、2.6 節) をしておく必要があります。

① 常時自動接続の設定をする方法 ←可能な限り常時接続しておきたい場合

Bluetooth の接続が切れている間、本アダプタから常時接続を試みます。ペアリングが完了している携帯電話すべてに対し、順に接続を試みます。

そのため、何らかの理由により Bluetooth の接続が切れても、再度接続可能な状態・電波到達範囲に入ると、自動的に接続されます。

接続が完了していると、受話器を上げた時に「ツー」音が鳴ります。

接続が完了していない場合には受話器を上げた時に「プー・プー」音が鳴ります。

この方法で接続するには「常時自動接続 (4.12 節)」が有効になっている必要があります。

初期設定ではオンになっています。必要な場合のみ接続したい場合は、本機能をオフにしてください。

② 固定電話の受話器を上げて自動的に接続する方法 ←必要な場合のみ接続したい場合

受話器を上げると最後にペアリング操作または接続操作をした機器番号「1」～「5」の携帯電話に接続します。

受話器を上げると「ツ・ツー…… ツ・ツー……」の繰り返し音が鳴り、その後「接続中1…」というアナウンスが流れます。

※このとき、「接続中3」のアナウンスの場合、ペアリングが完了していません。

接続が完了すると「接続中0」とアナウンスの後「ツー」に変化します。

接続を中止するには、受話器を置いて下さい。

※この操作による接続を行うには、「オフフック時自動接続 (4. 10 節)」がオンになっている必要があります。本機能は初期設定ではオフになっています。

③ 固定電話の操作により接続する方法 ←接続する携帯電話を指定したい場合

受話器を上げた後、接続したい機器番号「1」～「5」を回して下さい。受話器から「接続中1…」というアナウンスが流れます。

※このとき、「接続中3」のアナウンスの場合、ペアリングが完了していません。

接続が完了すると「接続中0」とアナウンスの後「ツー」に変化します。

接続を中止するには、受話器を置いて下さい。

④ 携帯電話の操作により接続する方法 ←接続する携帯電話を指定したい場合

携帯電話から本アダプタ (名称は「TTR-ADPT1」) を選び、「接続」の操作を行って下さい。(操作方法は携帯電話によって異なります)。

接続が完了すると、受話器を上げた時に「ツー」音が鳴ります。

接続が完了していない場合には受話器を上げた時に「プー・プー」音が鳴ります。

この方法で接続するには「Bluetooth 接続受付許可 (4. 11 節)」が有効になっている必要があります。初期設定ではオンになっています。

3.6 Bluetooth ペアリングの解除とやり直し

一旦登録した機器番号 (「1」～「5」のいずれか) へのペアリングを解除し、新たな携帯電話とペアリングするには以下の手順に従って下さい。

受話器を上げて「0001」～「0005」を入力して下さい。それぞれ機器番号「1」～「5」番のペアリングを解除し、新規にペアリングを開始します。

または、以下の方法ではペアリングの解除だけを行います。(4. 17 節参照)。

受話器を上げて「0000」を入力し、設定モードに入ります。

「3桁の機能番号を入力して下さい」とアナウンスが流れたら機能番号「330」を入力して下さい。

「一桁の番号を入力して下さい」とアナウンスが流れたら1～5を入力して下さい。それぞれ、機器番号「1」～「5」に対応しています。

「設定しました」とアナウンスが流れ、ペアリング解除が完了します。

3.7 パスワード

パスワード機能を使用すると以下の動作に制限をかけることができます。

不特定多数の人が使用する用途の場合などにご利用下さい。

- 1) モード設定 (4 章) を行うためにはパスワードの入力が必要になります。
- 2) Bluetooth の接続・切断・ペアリング削除にはパスワードの入力が必要になります。(次節参照)

パスワードの設定・解除については 4.27 節を参照して下さい。

3.8 パスワード設定時の Bluetooth の接続・切断、ペアリング情報の消去

パスワードが設定されている場合、以下の Bluetooth 関連の操作は使用できません。

- ・番号「8 1」～「8 5」入力による接続 (受動モード)
- ・番号「1」～「5」入力による接続 (能動モード)
- ・番号「9」, 「9 1」～「9 5」入力による切断
- ・番号「0 0 0 1」～「0 0 0 5」入力によるペアリングの解除とやり直し

上記の操作を行うには、以下の手順に従って下さい。

- 1) 受話器を上げて「0 0 0 0」を入力してください。
- 2) 「設定モードです。4桁の番号を入力して下さい」のアナウンスに従い、4桁のパスワードを入力してください。
- 3) アナウンスに従い以下の数字 (機能番号を入力して下さい)。
 - ・ペアリング・接続 (能動モード) 機能番号「3 3 1」 (4.14 節参照)
 - ・ペアリング・接続 (受動モード) 機能番号「3 3 8」 (4.15 節参照)
 - ・切断 機能番号「3 3 9」 (4.16 節参照)
 - ・ペアリングの解除 機能番号「3 3 0」 (4.17 節参照)
- 4) 接続する機器番号「1」から「5」を入力してください。

4 モード設定

本アダプタには各種設定項目があり、以下の手順で設定を行って下さい。
各設定項目は、電源が切れても保存されます。

- 1) 設定を開始するには、受話器を上げて「0000」を入力します。(受話器を上げた時の発信音は「ツー」または「ブー・ブー…」のどちらでも構いません)。
- *) パスワードが設定されている場合、「設定モードです。4桁の番号を入力してください」とアナウンスが流れるので、4桁のパスワードを入力してください。
- 2) 「設定モードです。3桁の機能番号を入力して下さい」とアナウンスが流れるので、以下の通り、アナウンスに従って操作して下さい。アナウンスの途中でも入力可能です。
- 3) 現在の設定値が読み上げられます。
- 4) アナウンスに従い3桁の機能番号を入力します。
- 5) アナウンスに従い、以下の表を参考に、指定の桁数の設定値を入力します。
- 6) 設定に成功すると「設定しました」とアナウンスが流れます。
- 7) アナウンスに従い、再び2) から繰り返すか、設定が完了したら受話器を置いて下さい。
- *) 途中で設定を中断するには受話器を置いて下さい。

4.1 受話・送話音量の設定

機能番号	設定値	初期値	
111	0~9	5	受話音量を設定します。(0:最小, 9:最大)
112	0~9	5	送話音量を設定します。(0:最小, 9:最大)
113	0~9	4	Bluetooth 接続時の受話音量を設定します。111番と合わせて使用できます。(0:最小, 9:最大)
114	0~9	4	Bluetooth 接続時の送話音量を設定します。112番と合わせて使用できます。(0:最小, 9:最大)

4.2 ノイズ低減

機能番号	設定値	初期値	
321	0~9	4	受話音声が無音のときの雑音を減らします。
322	001~999	100	321 の設定レベルより受話音声小さい期間が 322 の設定値の期間 (単位 : 5 ミリ秒) 続くと、無音とみなしミュートします。 321 の設定値を大きくすると雑音が減りますが、自然な通話感が損なわれやすくなります。 322 の設定値が短いと通話中にミュートが切り替わり、雑音が入る場合があります。

4.3 極性設定

機能番号	設定値	初期値	
871	0, 1	0	モジュラープラグの配線に極性がある電話機(一部のビジネスホンなど)において、配線の都合で極性が逆になる場合には本設定にて極性を反転させることができます。 0:極性反転しない、1:極性反転する

4.4 ナンバーディスプレイ

機能番号	設定値	初期値	
121	0, 1	1	ナンバーディスプレイ機能の有効・無効を設定します。接続する電話機のナンバーディスプレイ機能の有無に合わせて設定して下さい。 0:無効 1:有効

4.5 固定電話の回線種別

機能番号	設定値	初期値	
122	1~3	1	プッシュ式・ダイヤル式電話機のどちらでも、初期設定でほとんどの場合動作しますが、万が一動作しない場合に設定して下さい。 1:プッシュ回線 2:ダイヤル回線 (20pps) 3:ダイヤル回線 (10pps)

4.6 ダイヤル終了から発信までの待ち時間

機能番号	設定値	初期値	
123	05~99	25	ダイヤル終了から発信までの待ち時間を設定します。ダイヤルの途中で発信してしまう場合、大きめ値を設定して下さい。単位は0.1(秒)です。0.5秒~9.9秒の値を設定できます。

4.7 発着信許可

機能番号	設定値	初期値	
311	0~3	3	Bluetooth 携帯電話での発信・着信の許可・禁止を設定します。 0:発信禁止, 着信禁止 1:発信許可, 着信禁止 2:発信禁止, 着信許可 3:発信許可, 着信許可

4.8 市外局番自動付加

機能番号	設定値	初期値	
131	11桁 まで	オフ	市外局番の無い電話番号をダイヤルした際、自動的に市外局番を付けて発信します。電話機を設置する地域の市外局番を設定して下さい。 「0000」を設定すると本機能はオフになります。

4.9 Bluetooth デバイス名の変更

機能番号	設定値	初期値	
319	00~99	00	Bluetooth のデバイス名を変更することができます。 設定値に 01~99 を設定すると、ペアリング・接続・切断に使用する Bluetooth のデバイス名が「TTR-ADPT1 (xx)」(xx のところに 01~99 が入ります) になります。

4.10 オフフック時 Bluetooth 自動接続

機能番号	設定値	初期値	
312	0, 1	0	受話器を上げた際に、自動的に Bluetooth 接続を開始するかどうかを設定します。 0:開始しない 1:開始する

4.11 Bluetooth 接続受付許可

機能番号	設定値	初期値	
313	0, 1	1	携帯電話の操作による接続を受け付けるかどうかを設定します 0:受け付けない 1:受け付ける

4.12 Bluetooth 常時自動接続

機能番号	設定値	初期値	
314	0, 1	1	Bluetooth の常時自動接続を行うかどうかを設定します。 0:常時自動接続しない 1:常時自動接続する

4.13 Bluetooth 電波強度

機能番号	設定値	初期値	
391	0, 1	1	Bluetooth の電波強度 (PowerClass) を設定します。 近隣の 2.4GHz 帯無線を使用する機器と電波干渉する場合、電波強度を弱く (Class3 に) 設定し、改善するか試してください。 0:Power Class 3 出力 1mW (到達距離 1m 程度) 1:Power Class 2 出力 2.5mW (到達距離 10m 程度)

4.14 Bluetooth のペアリングと接続（能動モード）

機能番号	設定値	初期値	
331	1~5	無し	Bluetooth のペアリングと接続（能動モード）を行います。 設定値 1, 2, 3, 4, 5 が機器番号「1」～「5」に対応しています。 入力した機器番号がペアリング未完了の場合、ペアリングを開始します。ペアリング済みの場合、Bluetooth の接続を行います。 ペアリングと接続の動作の詳細は「携帯電話—固定電話アダプタ (Bluetooth 接続) 取扱説明書」を参照して下さい。

4.15 Bluetooth のペアリングと接続（受動モード）

機能番号	設定値	初期値	
338	1~5	無し	Bluetooth のペアリングと接続（受動モード）を行います。 設定値 1, 2, 3, 4, 5 が機器番号「1」～「5」に対応しています。 ペアリングと接続の動作の詳細は「携帯電話—固定電話アダプタ (Bluetooth 接続) 取扱説明書」を参照して下さい。

4.16 Bluetooth の切断

機能番号	設定値	初期値	
339	1~5, 9	無し	Bluetooth の切断を行います。 設定値 1, 2, 3, 4, 5 が機器番号「1」～「5」に対応しています。 設定値 9 は接続している全ての Bluetooth を切断します。 Bluetooth の切断動作の詳細は「携帯電話—固定電話アダプタ (Bluetooth 接続) 取扱説明書」を参照して下さい。

4.17 Bluetooth ペアリングの解除

機能番号	設定値	初期値	
330	1~5	無し	Bluetooth のペアリングを解除します。 設定値 1, 2, 3, 4, 5 がそれぞれ機器番号「1」から「5」に対応します。

4.18 Bluetooth 機器の最大接続台数

機能番号	設定値	初期値	
003	1~2	1	Bluetooth 携帯電話を同時に接続できる台数を設定します。

4.19 発信制限 (既定番号・無料通話)

機能番号	設定値	初期値													
711	0~9	9	<p>発信時の電話番号の先頭部分を指定して、発信を許可・禁止する機能です。</p> <p>下表において、番号 N と本機能の設定値を比較して、$N \leq$ 設定値で始まる番号には発信することができ、そうでない番号には発信できません。例えば設定値が 2 のときは、110, 119, 118 番には発信できますが、113, 0120, 0800 番には発信できません。</p> <p>本機能で対応できない番号は 4.21 節の個別番号の設定にて許可・禁止を行ってください。</p> <p>番号 N 発信番号</p> <table> <tr><td>1</td><td>110 (警察)</td></tr> <tr><td>1</td><td>119 (消防)</td></tr> <tr><td>2</td><td>118 (海上保安庁)</td></tr> <tr><td>3</td><td>113 (故障受付)</td></tr> <tr><td>4</td><td>0120 (フリーダイヤル)</td></tr> <tr><td>5</td><td>0800 (フリーダイヤル)</td></tr> </table>	1	110 (警察)	1	119 (消防)	2	118 (海上保安庁)	3	113 (故障受付)	4	0120 (フリーダイヤル)	5	0800 (フリーダイヤル)
1	110 (警察)														
1	119 (消防)														
2	118 (海上保安庁)														
3	113 (故障受付)														
4	0120 (フリーダイヤル)														
5	0800 (フリーダイヤル)														

4.20 発信制限 (既定番号・有料通話)

機能番号	設定値	初期値																			
712	0~9	2	<p>発信時の電話番号の先頭部分を指定して、発信を許可・禁止する機能です。</p> <p>下表において、番号 N と本機能の設定値を比較して、$N \leq$ 設定値の発信番号で始まる電話番号には発信することができ、そうでない番号には発信しません。</p> <p>例えば設定値が 1 のときは、171 番には発信できますが、それ以降の#で始まる番号、0180 番、0570 番などには発信できません。</p> <p>本機能では補いきれない場合は 4.21 節の個別番号の設定にて許可・禁止を行ってください。</p> <p>番号 N 発信番号 (x は任意の番号を表します)。</p> <table> <tr><td>1</td><td>171 (災害用伝言ダイヤル)</td></tr> <tr><td>2</td><td>#7119 (各地救急相談センター・救急安心センター)</td></tr> <tr><td>2</td><td>#9110 (各地警察総合相談センター)</td></tr> <tr><td>3</td><td>#xxxx</td></tr> <tr><td>4</td><td>1xx</td></tr> <tr><td>5</td><td>0180 (呼数集計、テレドーム)</td></tr> <tr><td>6</td><td>0570 (全国統一番号、ナビダイヤル)</td></tr> <tr><td>7</td><td>104 (番号案内)</td></tr> <tr><td>8</td><td>00xx</td></tr> </table>	1	171 (災害用伝言ダイヤル)	2	#7119 (各地救急相談センター・救急安心センター)	2	#9110 (各地警察総合相談センター)	3	#xxxx	4	1xx	5	0180 (呼数集計、テレドーム)	6	0570 (全国統一番号、ナビダイヤル)	7	104 (番号案内)	8	00xx
1	171 (災害用伝言ダイヤル)																				
2	#7119 (各地救急相談センター・救急安心センター)																				
2	#9110 (各地警察総合相談センター)																				
3	#xxxx																				
4	1xx																				
5	0180 (呼数集計、テレドーム)																				
6	0570 (全国統一番号、ナビダイヤル)																				
7	104 (番号案内)																				
8	00xx																				

4.21 発信制限 (個別番号)

機能番号	設定値	初期値	
721, 722, 723, 724, 725, 726, 727, 728, 729, 720	電話番号 11 桁まで	0000	<p>発信時の電話番号の先頭部分を指定して、発信許可・発信禁止を指定できます。4. 19 節・4. 20 節の発信制限 (既定番号) で設定しきれない番号に対して発信の許可・禁止の設定ができません。</p> <p>本機能の設定は発信制限 (規定番号 無料通話・有料通話) の設定より優先されます。</p> <p>1) 設定モードで 721~720 の機能番号を入力してください。 2) 現在の設定値の確認と「番号を入力してください」とアナウンスが流れるので、指定したい電話番号を入力してください。1~9 桁の範囲で入力できます。 3) 「3 桁の番号を入力してください」とアナウンスが流れるので数字を入力してください。それぞれの意味は以下の通りです。 000: 発信禁止 001: 発信許可</p> <p>例 1) 設定番号: 0123, 3 桁の番号: 000 0123 で始まる電話番号に発信出来なくなります。 例 2) 設定番号: 0180, 3 桁の番号: 001 0180 で始まる電話番号に発信可能になります。</p> <p>一度設定した番号を消去するには該当機能番号の設定値「0000」を「000: 禁止」に設定して下さい。</p>
	に続き		
	発信禁止 000	000	
	発信許可 001		

4.22 発信番号プレフィックス

機能番号	設定値	初期値	
751	11 桁 まで	0000	発信する際に電話番号の先頭にこの番号を付けて発信します。 「0000」を設定すると本機能はオフになります。

4.23 通話時間制限 (通知音)

機能番号	設定値	初期値	
752	0000 ～ 9959	0000	通話時間制限に近づいたことを通知する時間を設定します。 通話開始後、設定した時間に達すると受話器から「プププ…」 という通知音が鳴ります。 分(2 桁)+秒(2 桁)を設定して下さい (例: 4 分 30 秒の場合、 0430)。1 秒刻みで最大 99 分 59 秒まで設定できます。 「0000」を設定すると本機能はオフになります。

4.24 通話時間制限 (強制切断)

機能番号	設定値	初期値	
753	0000 ～ 9959	0000	通話時間制限を設定します。 通話開始後、設定した時間に達すると通話が切断されます。 分(2 桁)+秒(2 桁)を設定して下さい (例: 4 分 58 秒の場合、 0458)。1 秒刻みで最大 99 分 59 秒まで設定できます。 「0000」を設定すると本機能はオフになります。 多少の誤差が生じる場合がありますので、制限したい時間より も 1.2 秒短めに設定することをお勧めします。

4.25 再起動

機能番号	設定値	初期値	
000	無し	無し	内部制御回路が再起動します。 携帯電話アダプタの動作に何らかの異常が生じた場合に使用し て下さい。 各種設定値や Bluetooth のペアリング情報は消去されません。

4.26 設定初期化

機能番号	設定値	初期値	
999	無し	無し	携帯電話アダプタの各種設定値が出荷時の状態 (各表の「初期 値」) に初期化され、内部制御回路が再起動します。 Bluetooth のペアリング情報も消去されます。 携帯電話アダプタの動作に何らかの異常が生じた場合に使用し て下さい。

4.27 パスワード

機能番号	設定値	初期値	
199	0000～ 9999	0000	パスワードを4桁の数字で設定します。 パスワードを忘れると再設定は出来ませんのでご注意ください。 設定値が0000のときにはパスワード非設定となります。

4.28 バージョン番号確認

機能番号	設定値	初期値	
001	無し	無し	内部ソフトウェアのバージョン番号をアナウンスします。 3桁の番号 (x. xx) が、取扱説明書の最後に書いてある番号 (ver. BT-x. xx) に対応しています。 任意の数字を一桁入力するとアナウンスを終了します。

5 付録

5.1 仕様

電源	DC12V (AC アダプタより供給)
消費電力	待機時 1.5W 最大 2.5W
本体寸法	120mm (W) × 100mm (D) × 39mm (H) 突起部含まず AC アダプタ接続時 140mm (D)
本体重量	約 150g
動作環境	温度 0°C ~ 70°C 湿度 30% ~ 90%RH (結露なきこと)
接続可能内線電話数	1 回線 プッシュホン電話機・ダイヤル電話機に対応 無電源タイプの電話機 (黒電話や家庭用電話機) も使用可能
適合する内線電話機の仕様	日本国内向け仕様の通話用装置 (平衡 600Ω 端末)
ナンバーディスプレイ	対応
接続可能携帯電話数	ペアリング可能台数: 最大 5 台 同時接続・待ち受け台数: 最大 2 台
Bluetooth 仕様	Ver2.1+EDR Class2 (通信距離最大 10m、実用 3m 程度)
Bluetooth 対応プロファイル	HFP (ハンズフリープロファイル)
電波法関連	総務省の工事設計認証取得済みモジュールを内蔵
付属品	取扱説明書 AC アダプタ (DC12V)

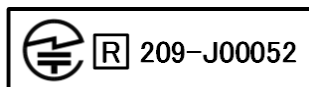
5.2 技術基準適合証明について

本製品は日本の総務省の工事設計認証を受けた Bluetooth モジュールを内蔵しています。モジュールの情報は以下の通りです。

認証製品名	WT32/Class 2 Bluetooth Module
認証申請者名:	Blue Giga Technologies Oy
認証番号	209-J00052

認証マークはモジュールの表示と同じものを取扱説明書や機器外部に転記できることが法律で認められています。

必要な場合は以下のラベルをコピーして本アダプタの底面等に貼り付けてください。



5.3 保証について

保証期間	購入後 1 年間 ただし、使用上の注意（第 1 章）に従い使用された場合に限りです。
------	---

本製品についてのお問合せは、販売会社もしくは当方までお願い致します。

浜谷製作所

山口県下松市桜町 1 丁目 1 3 - 1 0

電子メール : info1@ttrmkr.sakura.ne.jp

インターネットウェブサイト : <http://ttrmkr.sakura.ne.jp/>